

日時	平成26年8月8日 12:15		試合形式	60-10-PK		会場名	日世南アルプスタジアム										
天候	曇り		気温	32℃	湿度	54%	風	無風		ピッチ状態	観衆数						
主審	下平 明德		副審1	河野 紳一		副審2	西河 雅之		芝	全面良芝	200人						
		第4審判	河西 弘之		記録担当	深澤 一史, 山口 剛史		表面	乾燥								
千葉県 第1代表			2		前半 0 後半 0 延長前後		0		神奈川県 第2代表								
暁星国際中学校									横浜市立 宮田中学校								
Kick off					PK				Kick off ○								
交代	OUT時間	シュート			得点	先発	選手名	番号	位置	選手名	先発	得点	シュート	OUT時間	交代		
No	Rin	後	前	計									後	No	Rin		
						○	野村 光彩	1	GK	DF 2	○						
			*		1	○	飯田 大翔	2	DF	MF 3	○						
47	12					○	小澤 匠	3	DF	DF 4	○	1	*				
57	13					○	鳥飼 剛生	5	MF	DF 5	○						
			*		1	○	須崎 光将	6	DF	MF 6	○						
			*		1	○	加藤 拓海	7	MF	FW 7	○	1	*				
			*		1	○	坂井 大地	8	MF	DF 8	○						
60+1	16		*	*xox	5	1	○	宮崎 飛向	9	FW	FW 9	○					
			*		1	○	日高 太一	10	MF	FW 10	○	1	*				
40	14					○	鈴木 勇太	11	MF	FW 11	○						
47	in		**		2		平野 魁斗	12	GK	DF 12	○						
57	in						竹内 之飛	13	MF	FW 13							
40	in		**		2		塩盛 辰綺	14	FW	MF 14							
							山田 紘己	15	DF	GK 16							
60+1	in						池田 風生	16	DF	FW 18							
							青木 勇哉	17	DF	DF 20							
							福田 芳樹	18	FW	GK 21	○						
					○	1	○	大村 巧	20	DF	DF 22						
警告・退場			監督			監督			警告・退場								
			内藤 雅也			関 泰宣			27分 警 10 黒米 浩平 反スポ								
			後 前			前 後											
			チーム合計			チーム合計											
			6 9 15			3 0 3											
			0 3 3			8 4 4											
			5 3 8			1 0 1											
			4 4 8			4 2 2											
			1 0 1			6 0 6											
			6 0 6			1 0 1											
			0 1 1			0 0 0											
得点時間	得点チーム	NO	得点者	スコア	得点経過 例 ~:ドリブル →:ゴロパス ○:浮き球パス *:混戦 S:シュート H:ヘディング												
6	暁星国際中学校	9	宮崎 飛向	1-0	中10	中9S											
28	暁星国際中学校	20	大村 巧	2-0	左7FK	中20S(H)											
PK戦の経過			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			先														
			後														
[試合時間]			前半	12:15	(12:46)	後半	12:57	(13:30)	試合所要時間		1:15						
[戦評]			記入者 : 古屋 達之			所属 : 山梨県											
<p>前半は暁星ペースでゲームが進む。暁星は丁寧につなぎ、5番を経由し、サイドを起点にして、9番にボールをつなぐ。宮田はロングボールを使い、9番、10番をラインの裏に狙わせる。暁星は、5分ミドルレンジ左サイドよりから、10番が浮き球でパスを9番につなぎ、得点。その後も暁星がポゼッション率を高め、サイドを起点にしながら、攻撃を仕掛ける。宮田は9番、11番にボールを集めようとするが、暁星守備に阻まれる。その中でも、宮田は抜け出した11番などから、センタリングが上がり、チャンスを迎えるが、中であわない。暁星は27分、7番FKから、ゴール前フォアより走り込んできた20番が頭であわせ、2得点目を上げる。後半の入りは宮田ペースで進む。暁星に疲れが見え、中盤の守備が甘くなる。宮田の9番10番が起点となりチャンスをつくる。しかし、決めきれず流れをかえられない。徐々に暁星が落ち着き始め丁寧につなぎ、サイドを生かした攻撃を取り戻す。終盤は、暁星が時間をうまく使い、ピンチを作らないゲーム運びとなる。</p>																	

競技運営
責任者

主審